

都市再生整備計画

にほんまつえきみなみ だい き
二本松駅南地区(第2期)

ふくしま にほんまつし
福島県 二本松市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークابل推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福島県	市町村名	二本松市	地区名	二本松駅南地区(第2期)	面積	10	ha
計画期間	令和7年度～令和11年度	交付期間	令和7年度～令和11年度					

目標
大目標：安全・安心・快適に暮らせる、賑わいあふれるまちづくり 目標1：南北連携による住民・駅利用者のさらなる利便性の向上 目標2：魅力的な生活環境の形成による賑わいの創設 目標3：災害時等の安全性の確保
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 平成17年12月に1市3町が合併して誕生した新「二本松市」は、人口約5万3千人(R2年)を有しており、福島県中通りの福島市と郡山市の中間に位置し、安達地方の中心都市となっている。 二本松駅に接している当該地区は、木造の住宅が密集しており、市の中心部に位置する住宅地としての魅力が少なく、また、地区内には狭隘道路が多く、建築物の更新が困難な状況にあり、日常生活のなかで環境衛生上の問題や賑わいの欠如、犯罪の誘発、災害時に避難路が塞がれてしまう危険、豪雨時の冠水の被害があるなど、周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されている。
まちづくりの経緯及び現況
藩政時代には、奥州二本松藩十万七百石の城下町として栄え、二本松城(霞ヶ城)跡、福島県を代表する城下町などの多くの観光資源を有している。現在の市街地は、この城下町が原形となっており、商業・住居・公共施設等の都市機能が集積し、歴史・郷土文化等においても市の拠点となっていたが、近年では、空洞化や商業・観光地の玄関口としての魅力不足、六角川の氾濫による床下浸水対策が課題として挙げられていた。そこで、市は、中心市街地の賑わいの創出・活性化と併せて地域コミュニティの維持・回復はもとより、観光客とのふれあえるまちを目指し、市街地のある二本松駅北側周辺の整備として、市民交流センターや駅前広場などの公共施設の整備、六角川の治水工事などを進めてきた。一方、駅を挟んで反対側にある二本松駅南地区は、木造の住宅が密集しており、市の中心部に位置する住宅地としての魅力が欠けており、具体的には次のような現状となっている。
【駅周辺の利便性】
・二本松駅南地区は、狭隘道路が多く、車での駅へのアクセスがしづらい。 ・南地区の道路はバリアフリー化や歩道の整備が不十分 ・朝夕の駅への送迎車による自由通路付近道路の混雑により事故発生の危険がある ・駅南側と北側をつなぐ自由通路は老朽化しており、階段で車いすやベビーカー等での利用が難しい
【駅南地区の生活環境】
・住宅が密集し細街路が多いため、気軽に散歩したくなる環境が整っておらず、人と人との交流が生まれづらい ・駅周辺は特に道路の幅員が狭いにもかかわらず、車が入ってくる状況で、歩行者が安心して通行する環境が整っていない ・地区内は駐輪場や住宅が密集している状態で、二本松の顔となるような風景は広がっていない
【災害対応】
・地区内では豪雨被害が発生している ・災害時に避難できる場所が十分に整っていない ・市民より防災、防犯に強い住宅地づくりを求める声が多い
課題
【南北連携による住民・駅利用者のさらなる利便性の向上】
・南地区へアクセスするための幹線道路の整備 ・誰もが南地区を安心して歩けるバリアフリーに対応した歩行者空間の整備 ・駅への送迎車による南地区混雑解消や歩行者の安全性を確保するための駅前広場の整備 ・誰もが利用できる自由通路の整備
【魅力的な生活環境の形成による賑わいの創設】
・交流や賑わいを促す駅前広場や公園の整備 ・地区内の狭隘道路を解消し、交通環境を改善するための道路整備 ・二本松市の玄関口となるよう、駅前広場や公園住宅地の一体的な整備が必要
【災害時等の安全性の確保】
・水害を最小限に抑えるための広場内調整池の整備 ・災害時に避難できる駅前広場、公園の整備 ・防災、防犯として活用できる駅前広場、公園の整備

将来ビジョン(中長期)

【総合計画】

・令和2年12月に策定「第3次二本松市総合計画」(計画期間:令和3年～令和12年)

二本松駅周辺において「にぎわいのある都市空間の創出と良好な居住環境の整備、駅利用者の利便性の向上、歩行者の安全確保」が取組みとして挙げられている。

・平成29年10月策定「二本松市都市計画マスタープラン」(目標年次:平成40年度)

二本松駅南地区において「駅前広場及びアクセス道路の整備」「古くからの住宅市街地において、防災上の危険性が高い狹隘道路の解消」が主な取組みとされている。

・「立地適正化計画」平成31年3月31日適用(令和6年2月防災指針追記)

都市構造再編集中心支援事業の計画

都市機能配置の考え方

・本市全体の生活利便性を牽引しつつ、注目すべき世代に選ばれるまちとするため、市民交流センターの子育て支援機能を活用し、病院・保育所・幼稚園・商業機能の維持・充実・誘導を図ります。

霞ヶ城公園から旧奥州街道における、保育所・幼稚園・小学校・病院の立地の強みを活かし、注目すべき世代をはじめ、市民が暮らしやすい二本松北部の子育て環境の維持充実を図ります。

(二本松市立地適正化計画概要版より)

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

・本市全体の生活利便性を牽引しつつ、注目すべき世代に選ばれるまちとするため、市民交流センターの子育て支援機能を活用し、病院・保育所・幼稚園・商業機能の維持・充実・誘導を図ります。

霞ヶ城公園から旧奥州街道における、保育所・幼稚園・小学校・病院の立地の強みを活かし、注目すべき世代をはじめ、市民が暮らしやすい二本松北部の子育て環境の維持充実を図ります。

(二本松市立地適正化計画概要版より)

居住誘導方針の考え方 ※居住誘導促進事業を活用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

子ども・子育て支援環境整備方針 ※子どもまんなかまちづくり事業を活用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目 標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
自由通路利用者数	人／12時間	自由通路を利用する人数	【目標1】の実現に向けた基幹事業として、南北をつなぐ自由通路を整備し、住民・駅利用者の利便性を高める。2000年から二本松駅利用者数が年平均減少率(2%)となっているが自由通路の整備でバリアフリー化等により現状の利用者数を確保する。	524人	R6	524人	R11
周辺地区内で新たに住宅を着工した数	軒	地区内で新たに住宅を着工した数(1期計画の年間平均) 周辺地区(金色、市海道、成田1区、成田2区、成田4区、成田5区、成田6区、成田10区、成田11区、成田12区)で新たに住宅を着工した数 ※1期計画整備済みの造成地内の件数は含めない。	【目標2】の実現に向けた基幹事業として、向原上竹線と二本松駅とをつなぐ道路・歩道の整備や、公園整備により、住民が安心・安全な生活環境を形成することで地区内及び周辺地区の賑わいを創出する。	0軒	R6	100軒	R11
消防困難地域の解消	m ²	駅南地区で解消される消防困難地域の面積	【目標3】の実現に向けた基幹事業として、向原上竹線と二本松駅とをつなぐ道路の整備により、消防困難地域を減少させ、地区内の安全性を確保する。	60000m ²	R6	0m ²	R11

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【南北連携による住民・駅利用者のさらなる利便性の向上】 ・自然と安全に駅に足を運べる導線にし、駅利用の増大を図る ・駅まで安全に足を運べる導線 ・安心して歩けるバリアフリーに対応した歩行者空間の整備 ・道路拡幅・歩道設置をすることによって、車と歩行での駅へもアクセスを向上させる ・駅への送迎車による南地区混雑解消や歩行者の安全性を確保するための駅前広場の整備 ・ニーズに応じた駐車場の整備 ・誰もが利用できる自由通路の整備 【魅力的な生活環境の形成による賑わいの創出】 ・地区内の狭隘道路を解消し、交通環境を改善するための道路整備 ・交流や賑わいを促す駅前広場の整備 ・駅前の景観や周辺の住環境の改善 ・二本松の顔となる、利便性が高い駅前広場の整備 ・電力・NTTの無電柱化で地上に電線類のない良好な街並みの整備 【災害時等の安全性の確保】 ・水害を最小限に抑えるための広場内調整池の整備 ・災害時に避難できる駅前広場 ・防災、防犯として活用できる駅前広場 ・電力・NTTの無電柱化で地震等による災害リスクの軽減	■基幹事業 【基幹事業】(道路)二本松駅南口広場線 【基幹事業】(道路)市海道4号線 【基幹事業】地域生活基盤施設(広場):駅南口広場 【基幹事業】地域生活基盤施設(駐輪場):駅南口広場 □提案事業 【提案事業】駅南都市整備PR活動:パンフレット作製 【提案事業】事業活用調査:事業事後効果調査 ■基幹事業 【基幹事業】(道路)二本松駅南口広場線 【基幹事業】(道路)市海道4号線 【基幹事業】地域生活基盤施設(広場):駅南口広場 【基幹事業】下水道:二本松駅南口広場線 □提案事業 【提案事業】駅南都市整備PR活動:パンフレット作製 【提案事業】事業活用調査:事業事後効果調査 ■基幹事業 【基幹事業】(道路)二本松駅南口広場線 【基幹事業】(道路)市海道4号線 【基幹事業】地域生活基盤施設(広場):駅南口広場 【基幹事業】地域生活基盤施設(地域防災施設):駅南口広場内調整池 □提案事業 【提案事業】駅南都市整備PR活動:パンフレット作製 【提案事業】事業活用調査:事業事後効果調査
その他	【まちづくりの住民参加】 ・現在、地区内には、「駅南・下成田まちづくり協議会」の団体により、「道路緑化」「花壇定植管理」等の地域にあった事業を行ない、にぎわいの創出に努力している。 【都市防災のあり方の検討】 ・近年の激甚化する自然災害に対応するため、都市防災のあり方を検討調査し、「二本松市立地適正化計画(平成31年3月公表)」に防災指針を令和6年2月に追加しました。

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	1,397	交付限度額	699	国費率	0.5
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
	細項目						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		二本松駅南口広場線	二本松市	直	L=209.5m	R2	R11	R7	R9	596	260	260		260	－	
		市海道4号線	二本松市	直	L=58.4m	R2	R11	R7	R9	130	130	130		130	－	
公園 古都保存・緑地保全等事業 河川 下水道 駐車場有効利用システム 地域生活基盤施設																
地域生活基盤施設	地域防災施設	二本松駅南口広場内調整池	二本松市	直	V=2200m3	R2	R11	R10	R11	400	400	400		400	－	
	広場	二本松駅南口広場	二本松市	直	A=493.8㎡	R2	R11	R10	R11	1,140	400	400		400	－	
	駐輪場	二本松駅南口広場	二本松市	直	A=292.0㎡	R2	R11	R10	R11	190	190	190		190	－	
高質空間形成施設																
高次都市施設	地域交流センター															
	観光交流センター															
	テレワーク拠点施設															
	賑わい・交流創出施設															
	子育て世代活動支援センター															
	複合交通センター															
合計										2,519	1,390	1,390	0	1,390		

提案事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費			交付対象 事業費		
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分				
地域創造 支援事業	事業事後効果調査	計画区域全域	二本松市	直		R11	R11	R11	R11	6.0	6.0	6.0		6.0		
事業活用 調査																
まちづくり活動推進 提供活動 事業						計画区域全域	二本松市	直	1式	R7	R11	R7	R11	1.0	1.0	1.0
合計										7	7	7	0	7		

居住誘導促進事業														
事業	事業箇所名	事業主体	直／間		(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
居住誘導促進事業														
合計									0	0	0	0	0	
												合計(A+B+C)	1,397	

(参考)都市構造再編集集中支援関連事業

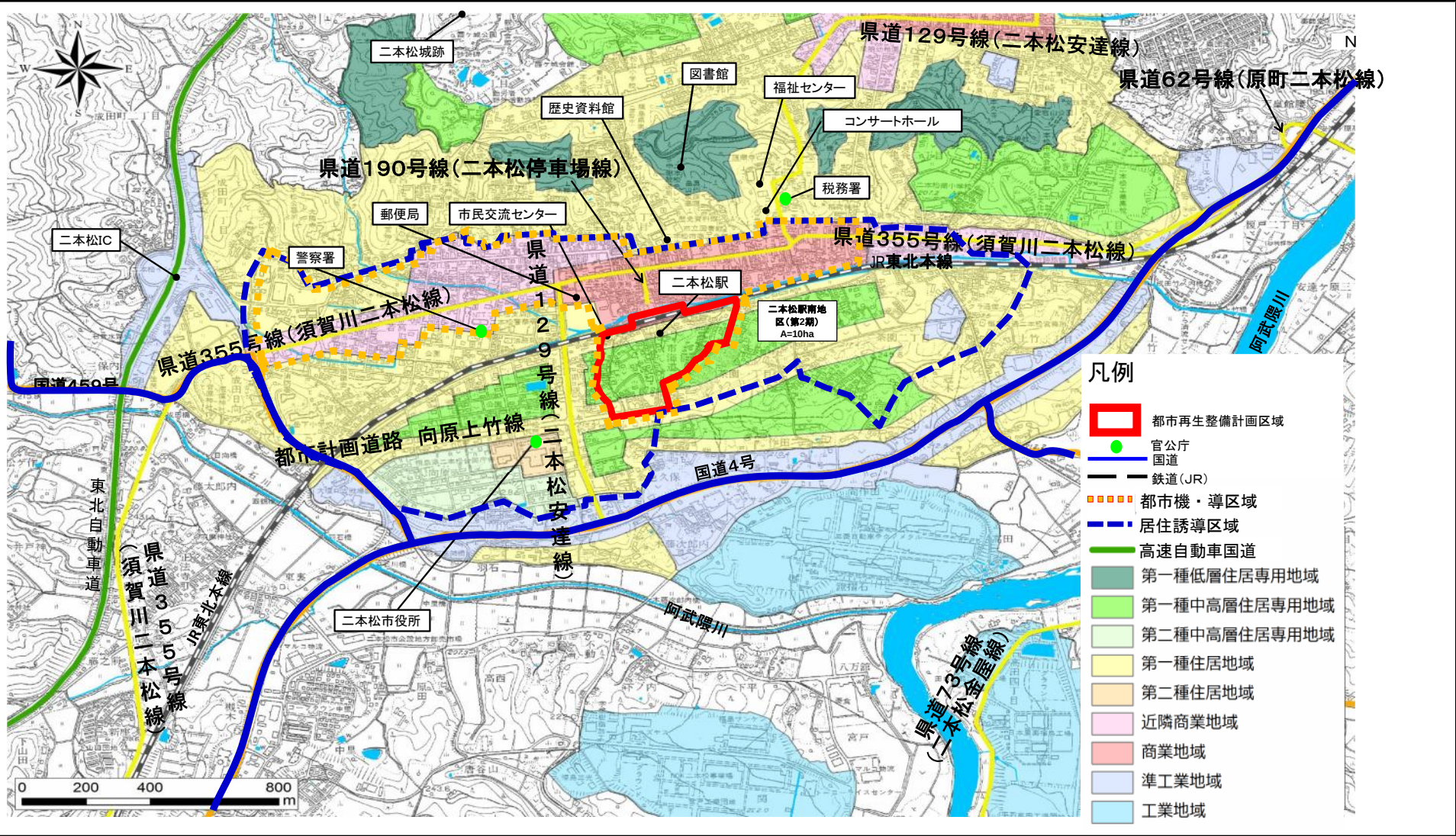
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
合計											0

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
上水道事業	二本松駅南口広場線・市海道4号線	二本松市		L=490.9m			○		R8	R8	34
下水道事業	二本松駅南口広場線・市海道4号線	二本松市		L=254.5m			○		R8	R8	30
乗換跨線橋	二本松駅乗換跨線橋	JR						○	R11	R11	130
自由通路	中央跨線橋	二本松市		L=79.7m					R8	R11	4,780
合計											4,974

※JR協議で基本設計作成中。確定次第、基幹事業に移行。

二本松駅南地区(第2期)(福島県二本松市)	面積	10	ha	区域	二本松市茶園一丁目、市海道、金色の一部
-----------------------	----	----	----	----	---------------------



二本松駅南地区(第2期)(福島県二本松市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

